

I 概 要

1) 苅田港の沿革

本港は、国の出炭奨励政策が進められていた昭和14年に、筑豊炭の積出港として国の手によって修築に着手し、19年に岸壁及び積出し栈橋の一部が竣工し、運用を開始した。

第2次大戦後は、一時閉鎖状態となったものの、鉄とともに石炭が戦後復興の重点産業とされ、筑豊炭の出炭量の増大に伴い活況を取戻し、26年には重要港湾、準特定重要港湾に指定され、同年福岡県が港湾管理者となり、29年に福岡県苅田港務所が設置された。

20年代後半我が国の産業は、急速な発展を続け、それに伴って産業製品等の内外貿易は飛躍的な伸びを示した。海上輸送上好位置にある本港は43年に貿易港として開港し、44年に木材輸入港として指定されるに及び、急速に港勢を伸ばすこととなった。

30年には九州電力(株)苅田発電所が進出したのをはじめ、セメント関連企業、木材関連企業等の進出、操業が相次ぎ、48年にはフェリーが就航し、翌年には日産自動車(株)九州工場が小波瀬工業用地45万㎡に進出した。

その間臨海工業用地（1号埋立地、昭和41～44）、小波瀬工業用地（昭和42～47）、松山工業用地（昭和47～54）、臨海工業用地（2号埋立地、昭和52～61）等の埋め立て造成を行うとともに、45年に本港10号岸壁、48年にフェリーふ頭、52年には松山木材岸壁、54年には南港7号B岸壁の供用開始と港湾施設の整備・拡充を図り、背後に大小の工場群を配する県営の最大港湾となった。

59年には年間貨物取扱量も2,600万トンを超えるに至ったが、その後の貿易摩擦による自動車産業の低迷、NIES（新興工業国）における基礎資源型工業の発展による我国セメント産業の輸出量の減少、旅客フェリー航路の廃止等により59年をピークに取扱貨物量も減少していった。しかし、経済の回復、成長に伴い63年には完成車（輸移出）及びセメントの（移出）の取扱が好調となり、また4年ぶりに輸入品も石炭、新規貨物等の取扱が増加することとなった。その後も、順調に推移し平成9年には3,500万トンに達した。翌10年から景気低迷のあおりを受け減少に転じたものの、その後はおおよそ3,000万トン台で推移し、22年には2,900万トンとなったが、23年は外貿・内貿とも増加に転じ、3,100万トンとなり24年は3,450万トンと過去最高に迫る増加となった。

一方、港湾の整備・拡充も着々と進められており、南港地区では平成11年10月、南航路を水深10m、航路幅190mに拡幅整備、南港10号岸壁とともに供用開始、さらに22年には耐震強化岸壁の整備や航路幅300mの拡幅を行った。そのことにより、南港地区の利便性及び機能が飛躍的に向上することとなった。また、本港地区では16年8月、本港13号岸壁がアンロードと共に供用開始し、本港地区におけるバラ貨物の取扱が飛躍的に向上した。

さらに17年にトヨタエンジン工場が操業開始した松山地区に隣接する新松山地区では船舶の大型化と内外貿易貨物の増大に対応した埠頭の整備、並びに自動車関連産業等の臨海部用地の需要に対応した工業団地の造成を行っている。

港の周辺では18年に東九州自動車道(北九州JCT～苅田北九州空港IC)が開通、北九州空港も開港し、高速道路、空港、港湾が半径5km圏内で利用可能となり、陸・海・空の三拍子が揃った交通結節点として、高いポテンシャルを有している。さらに東九州自動車道も26年度には県内全線が完成する予定であり、苅田港の役割は今後ますます大きくなるものと期待されている。

2) 苅田港のあゆみ

昭和13年	苅田港修築計画閣議決定
” 14年	内務省直轄工事として着手
” 17年	臨海工業用地造成工事着手
” 19年	岸壁棧橋一部竣功し送炭開始
” 26年	重要港湾に指定
” 26年	準特定重要港湾に指定
” 29年	苅田港務所設置
” 31年	九州電力(株) 苅田 ^{かりた} 発電所発電開始
” 33年	石炭荷役機械設備工事着手 (35年3月完成)
” 34年	臨海工業用地造成工事再開 (1号埋立地1,511,000㎡ 40年完成)
” 35年	県営臨港鉄道石炭輸送開始
” 37年	石炭埠頭造成完了 (214,000㎡)
” 39年	臨港地区指定
” 40年	小波瀬工業用地造成着手 (1,980,000㎡ 47年完成)
” 40年	臨港地区に分区指定
” 43年	貿易港として開港
” 43年	門司税関苅田出張所開所
” 44年	港湾区域変更
” 44年	木材輸入港の指定
” 47年	門司海上保安部苅田分室開所
” 47年	松山工業用地造成工事着手 (549,000㎡)
” 47年	財団法人苅田フェリー埠頭公社設立
” 49年	門司植物防疫所苅田出張所開所
” 50年	日産自動車(株)九州工場操業開始
” 51年	苅田港港湾施設概要の公示 (県告示第1347号)
” 52年	松山工業用地造成工事(第1工区)完成291,000㎡
” 52年	本港7号岸壁松山水面貯木場供用開始
” 52年	松山木材岸壁供用開始
” 52年	臨海工業用地造成工事再開 (2号埋立地 1,600,000㎡ 61年完成)
” 53年	石炭荷役施設改良工事完成
” 54年	南港7号B岸壁供用開始
” 57年	かんだポータルラジオ開局 (VHF16チャンネル)
” 61年	無線検疫港に指定
” 62年	財団法人苅田フェリー埠頭公社解散

平成3年	松山工業用地造成工事（第2工区）完成 258,000㎡
＼ 3年	南航路（－7.5m）供用開始
＼ 5年	南港5号岸壁一部（180m）供用開始
＼ 7年	新松山埋立事業認可（平成7年2月）
＼ 8年	南港5号岸壁沖側180m供用開始
＼ 11年	南港7号C岸壁供用開始
＼ 11年	南航路（－10m）供用開始
＼ 11年	南港10号岸壁供用開始
＼ 16年	松山小型船溜まり供用開始
＼ 16年	本港13号（－13m）岸壁供用開始
＼ 16年	本港13号岸壁にアンローダ設置、供用開始
＼ 17年	苅田海上保安署開所
＼ 17年	トヨタ自動車九州（株）苅田工場操業開始
＼ 18年	北九州空港開港
＼ 18年	東九州自動車道（北九州JCT～苅田北九州空港IC）開通
＼ 21年	磯浜緑地供用開始
＼ 22年	南航路幅（300m）供用開始
＼ 22年	南港7D岸壁耐震強化工事完成

3) 自然状況

(1) 位置及び地勢

苅田港は、福岡県の東部北緯33度47分、東経131度0分に位置し、東は周防灘と接し背後は松山、高城山、二先山等一連の山々に接している。

(2) 地質

海底は遠浅で、表層は砂まじりの泥土で錨泊に適し、下層は礫まじりの泥土である。

(3) 気象

瀬戸内海の西に有り、気候は温暖で降雨量も少なく、海風も年間を通じて少ない。季節別特徴としては、冬季は海に向かって吹く風が多く、陸に向う風は初夏に多い。

規定回数	8,784
測得回数	8,734
欠測回数	2回 0.0(%)

平成24年風向別風速頻度表

観測所名：福岡県苅田港務所

期 間：2012年1月1日～2012年12月31日（全期間）

(凡例 ①0～4.9 ②5～9.9 ③10～14.9 ④15～ 単位：m/sec) 苅田 (沖)

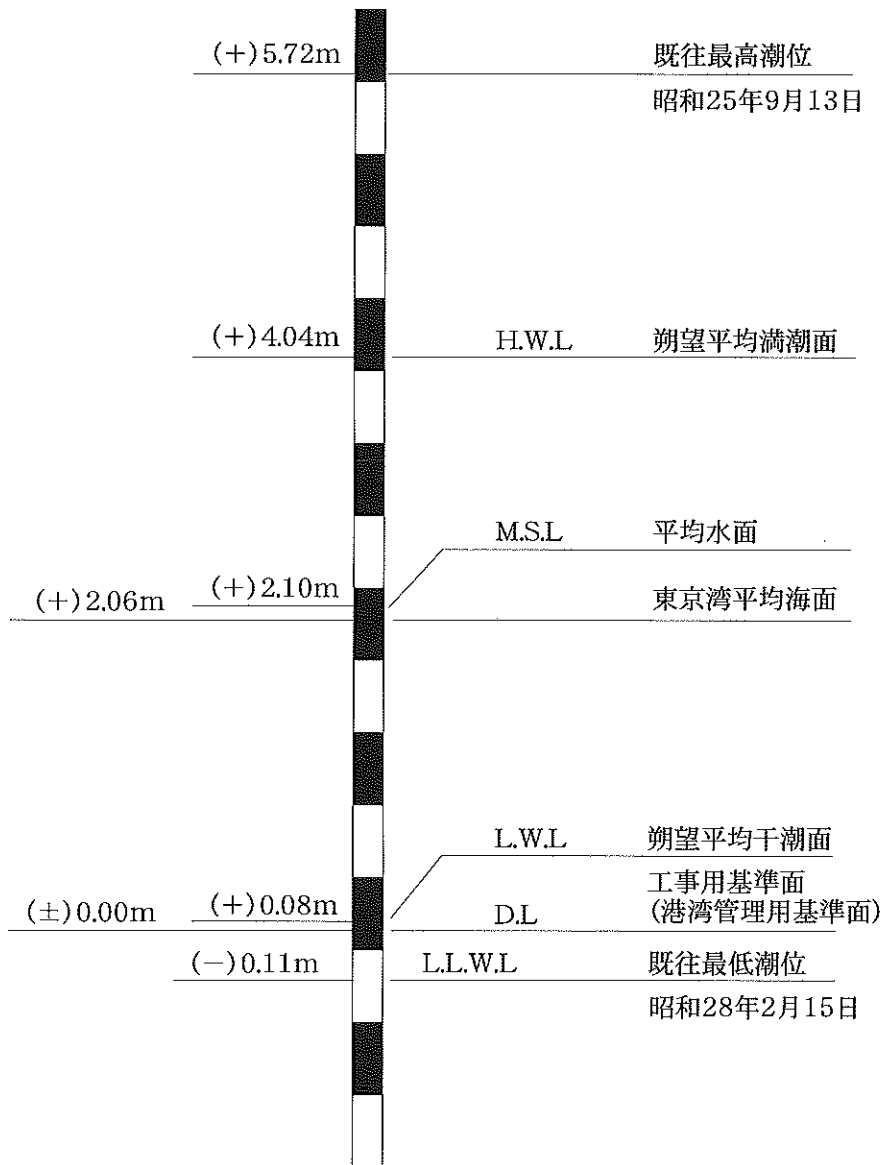
	1 月				2 月				3 月				4 月				5 月				6 月				7 月				8 月				9 月				10 月				11 月				12 月				計								
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④													
CALM	2				1				2								1								4				1								6				11				1								8				39
N	17				16	2			26	2			18				20	3			27				23				9				17	8			12	11			12	11			9	2			8	2			233				
NNE	14	6			21	5			34	16			23				41	5			22				30				30				10	1			21	5			23	15			7	2			12	2			318				
NE	21				34				39				53				75				66				73	5			40	9			42	1			33	2			21	6			26	1			548								
ENE	7				11				19				45	2			41	1			49				53	2			41				30	3			20				12				7				345								
E	13	3			18	4			29	5			48	12			37	2			91	3			29	10			61	47			26	8			10	1			12				6				503								
ESE	11				17	2			22	2			23	17			21	2			60				39	11			84	50			17	6			5				7				5				409								
SE	18				28				28				39	2			39	1			77				60	8			80	29	1		22	3			29				27				33				525								
SSE	20				24				21	1			23				27				34				54				33	1			15	3			18				19				29				322								
S	42				62	1			26	2			36				42				30				52				45	1			76	5	1		43				53				57				574								
SSW	95				57				46	2			29	1			37	2			14				28	1			37	1			49	1			73				95				61				629								
SW	73	2			47	4			32	5			25	6			35	9			7				38	11			31	1			27	1			45				68				55				522								
WSW	61				45				45	1			29	7	1		22	5			8				29				22				38				33				53				61				460								
W	70	7			55	7			47	25			46	25	3		30	5			6				19	2			14	1			33				39	2			94	12			97	7			646								
WNW	88	45			61	49			75	38	5		42	32			47	35			56				56	5			31	1			64	5			49	18			93	30			128	45			1103								
NW	63	27			60	27			68	32	1		81	30			88	40	3		77	1			61	4			44	4			120	20			123	16			51	15			54	16			1134								
NNW	25	14			25	13			25	22			20	2			23	8			29				35	2			11	2			37	10			38	27			25	6			20	4			424								
合計	640	104	0	0	582	114	0	0	584	153	6	0	580	136	4	0	626	118	3	0	655	6	0	0	683	61	0	0	594	148	1	0	640	79	1	0	604	92	0	0	647	73	0	0	667	77	0	0	8734								

(4) 潮 流

潮流のパターンは、下げ潮においては、初期はESE方向に流れ出し、最強時にはSEに、さらにSSEとなり、時計廻りの向きに変わる。上げ潮の初期はNWで、次第にWNWからNNWの向きに流れが変っていく。流速は、下げ潮の表層4~20cm/s、上げ潮の表層5~19cm/s、底層1~11cm/sで表層の方が少し速い。

恒流では、表層がES方向に2.0~7.8cm/s、底層はそれを補う形でNW方向に0.7~4.4cm/sであった調和分析によると、この海域の潮流は半日周期(M₂)が卓越し、潮汐による潮流である。

(5) 潮 位



4) 港湾区域

港湾区域 (港湾法)

松山三角点 (標高127.89メートル北緯33度48分21秒9408、東経130度59分08秒8349) から321度30分370メートルの地点、同地点から32度05分55秒1,439メートルの地点、同地点から81度40分58秒10,942メートルの地点、同地点から125度20分07秒3,895メートルの地点、同地点から188度10分52秒610メートルの地点、同地点から345度42分11,327メートルの地点及び同地点から249度31分11秒3,127メートルの地点を順次に結んだ線及び陸岸に囲まれた海面。

港の区域 (港則法)

荻田港東防波堤灯台 (北緯33° 47′ 49″ 東経131° 00′ 48″) から202° 520mの地点を中心とする半径3,000mの円内の海面。

5) 港湾施設

(1) 水域施設

施設の種類	名称	位置	水深(m)	幅員(m)	延長(m)
航路	荻田港本航路	本港10号泊地から東方港外に至るまで	-10	200~250	11,080
	荻田港南航路	南港10号泊地から荻田港本航路に至るまで	-10	300	2,140
	松山小型船溜まり航路	松山小型船溜まり泊地から松山A護岸北側に至るまで	-2	30	600
	名称	位置	水深(m)	面積(千㎡)	

本港13号泊地	本港13号岸壁前面	-11.4	32
本港10号泊地	本港10号岸壁前面	-10	166
本港7号泊地	本港7号岸壁前面	-7.5	45
本港6号泊地	本港6号岸壁前面	-6.5	42
本港5号泊地	本港5号岸壁前面	-5.5	37
本港4号泊地	本港4号岸壁前面	-4.5	94
本港3号泊地	本港3号物揚場前面	-3	68
南港7号A泊地	荻田港南第1号浮標から7号A岸壁前面まで	-7.5	1,198
南港7号B泊地	フェリー埠頭先端から南港7号B岸壁前面まで	-7.5	94

泊地	南港7号C泊地	南港7号C岸壁前面	-7.5	8
	南港5号泊地	南港5号岸壁前面	-5.5	20
	南港4号泊地	南港4号岸壁前面	-4.5	166
	松山泊地	松山ドルフィン前面	-10	71
	松山10号泊地	松山木材岸壁前面	-10	37
	本港2号泊地	幸町2号AB物揚場前面	-2	11
	南港7号フェリー泊地	南港フェリー岸壁前面	-7.5	70
	南港10号泊地	南港10号岸壁前面	-10	492
	松山小型船溜まり泊地	松山小型船溜まり前面	-2	23
	本港第2船溜まり泊地	本港第2船溜まり船揚場前面	-2	44

(2) 外かく施設

施設の種類	名称	位置	延長(m)
防波堤	北防波堤	京都郡荻田町鳥越町地先	1,017
	東防波堤	京都郡荻田町大字浜町字神島4499番地の2北側地先	400
	南防波堤	京都郡荻田町大字浜町字神島4499番地の2南側地先	885.7
	防波堤(松山)	京都郡荻田町鳥越町地先	252
	松山防波堤	京都郡荻田町鳥越町地先	440
	松山小型船溜まり防波堤	京都郡荻田町鳥越町1番61地先	385
	本港第2船溜まり防波堤	京都郡荻田町幸町地先	425
防砂堤	防砂堤	京都郡荻田町新浜町1番地の3地先	1,646
防潮堤	浜町防潮堤	京都郡荻田町磯浜町1丁目2番1号地先	44

施設の種類	名 称	位 置	延長 (m)	敷地幅 (m)
護 岸	浜 1 号 護 岸	京都郡菟田町磯浜町	346	7
	浜 2 号 護 岸	京都郡菟田町磯浜町 2 丁目 1 番地 3	310	5
	丁 護 岸	京都郡菟田町港町	76	4.5
	本港3号物揚場護岸	京都郡菟田町港町 1 番地	28	4
	丙 護 岸	"	80	5
	本港埠頭 1 号 護 岸	京都郡菟田町港町23番地	500	6
	本港埠頭 2 号 護 岸	京都郡菟田町港町23番 5 から23番14まで	238	5
	本港埠頭 3 号 護 岸	京都郡菟田町港町23番地	395	3
	本港 1 3 号岸壁 A 護 岸	京都郡菟田町港町23番地5	61	17.4
	本港 1 3 号岸壁 B 護 岸	京都郡菟田町港町23番地5	354	0.8
	長 浜 護 岸	京都郡菟田町長浜町	1,069	11
	南 原 護 岸	京都郡菟田町殿川町1番地2から同町富久町 2 丁目 34 番地まで	1,720	11~13
	小波瀬工業用地護岸	京都郡菟田町新浜町	3,110	2
	南港7号A岸壁取付護岸	京都郡菟田町長浜町50番地	50	4
	南港7号B岸壁取付護岸	京都郡菟田町新浜町	30	4
	南港4号岸壁取付護岸	京都郡菟田町長浜町51番地	55	4.5
	南港3号物揚場取付護岸	京都郡菟田町新浜町7番地	60	3.7
	南港中央C護岸	京都郡菟田町新浜町7番地	52	10
	松山木材岸壁取付護岸	京都郡菟田町鳥越町	60	3
	松山物揚場取付護岸	"	30	3.5
	松山 1 号 護 岸	"	154	3.5
	松山 2 号 護 岸	"	113	2.7
	松山 3 号 護 岸	"	4	3
	松山 A 護 岸	"	1,324	1.5
	松山 B 護 岸	"	1,100	1.5
	松山 C 護 岸	"	1,050	1.3
	松山 D 護 岸	"	341	4.5
	松山小型船溜まり A 護岸	京都郡菟田町鳥越町1番61	108	1.2
	松山小型船溜まり B 護岸	"	10	0.8
	松山小型船溜まり C 護岸	"	19	3
	新松山 A 護岸	京都郡菟田町鳥越町10番1地先	1,140	8.5
	新松山 B 護岸	"	840	29.8
	新松山内護岸	"	1,140	27.7
幸町 1 号 護 岸	京都郡菟田町幸町	42	0.5	
幸町 2 号 護 岸	"	104	3.5	

護岸	幸町3号護岸	京都郡菟田町幸町	202	3.5
	フェリーA護岸	京都郡菟田町新浜町5-3	230	11
	フェリーB護岸	"	74	11
	フェリーA岸壁取付護岸	"	15	3.6
	南港7号D岸壁取付護岸A	"	30	3.6
	南港7号D岸壁取付護岸B	"	30	11
	2号地B護岸	京都郡菟田町新浜町9番 50. 51. 56	1,345	2.5
	2号地C護岸	" 51. 56. 62	1,266	1.8
堤防	菟田堤防	京都郡菟田町幸町	2,022	14

(3) けい留施設

施設の種類	名称	位置	水深(m)	延長(m)	けい留能力		エプロン幅(m)
					重量トン	バース数	
岸壁	本港13号岸壁	京都郡菟田町港町23番地8	-13	260	40,000	1	20
	本港10号岸壁	京都郡菟田町港町23番地	-10	370	10,000	2	20
	本港7号岸壁	"	-7.5	130	5,000	1	20
	本港6号岸壁	京都郡菟田町港町3番地	-6.5	110	3,000	1	15
	本港5号岸壁	京都郡菟田町港町2番地	-5.5	150	2,000	2	15
	本港4号岸壁	京都郡菟田町港町1番地	-4.5	386	700	6	15
	南港10号岸壁	京都郡菟田町新浜町8番14	-10	340	10,000	2	20
	南港7号A岸壁	京都郡菟田町長浜町50番地地先	-7.5	130	5,000	1	20
	南港7号B岸壁	京都郡菟田町新浜町6番地地先	-7.5	260	5,000	2	20
	南港7号C岸壁	京都郡菟田町新浜町8番13地先	-7.5	130	5,000	1	20
	南港7号D岸壁	京都郡菟田町新浜町5番3	-7.5	230	5,900	1	20
	南港5号岸壁	京都郡菟田町新浜町8番地地先	-5.5	360	2,000	4	15
	南港4号岸壁	京都郡菟田町長浜町49及び51番地	-4.5	440	700	7	15
	フェリーA岸壁	京都郡菟田町新浜町2番2	-7.5	195	7,500	1	20
	松山ドルフィン	京都郡菟田町鳥越町地先	-10	580	10,000	1	—
	松山木材岸壁	"	-10	185	10,000	2	20
	本港浮さん橋	京都郡菟田町港町1番地	-3	10×2 +5	—	—	—
	本港第2船溜まり浮棧橋1	京都郡菟田町幸町地先	-2	169	—	—	—
本港第2船溜まり浮棧橋2	京都郡菟田町幸町地先	-2	101	—	—	—	
物揚場	本港3号物揚場	京都郡菟田町港町1番地	-3	351	—	—	7
	南港3号物揚場	京都郡菟田町新浜町7番地	-3	180	—	—	10
	松山物揚場	京都郡菟田町鳥越町	-2	100	—	—	10
	松山小型船溜まりC物揚場	京都郡菟田町鳥越町1番61	-2	80	—	—	7.6
	松山小型船溜まりD物揚場	"	-2	140	—	—	6

物 揚 場	幸町2号A物揚場	京都郡菟田町幸町	-2	119	—	—	10
	幸町2号B物揚場	”	-2	175	—	—	10
	幸町3号物揚場	京都郡菟田町幸町	-3	250	—	—	10
	幸町4号物揚場	”	-4	150	—	—	10
船 揚 場	松山小型船溜 まり船揚場	京都郡菟田町鳥越町1番61	-2	30	—	—	—
	幸町船揚場	京都郡菟田町幸町	-2	30	—	—	—
	本港第2船溜 まり船揚場	京都郡菟田町幸町	-2	30	—	—	—

(4) 臨港交通施設

施設の種類	名 称	起 点		幅 員(m)	延 長(m)
		終	点		
道 路	本港1号線	京都郡菟田町港町4番地の6県道菟田港線終点		13.4~22	1,750
		京都郡菟田町港町3番地本港7号岸壁			
	本港2号線	本港5号岸壁南西端		8.8~10.2	1,000
		本港10号岸壁中央			
	本港3号線	本港1号線の終点前150mの点		13	510
		本港10号岸壁北端			
	本港4号線	京都郡菟田町港町2番地本港5号線との交差点		11~13	575
		本港3号線の終点前62mの点			
	本港5号線	京都郡菟田町港町2番地本港1号線との交差点		11	173
		本港5号岸壁中央			
	本港6号線	京都郡菟田町港町2番地本港4号線との交差点		11	69
		本港6号岸壁西南端			
	本港7号線	京都郡菟田町港町2番地本港1号線との交差点		10	202
		本港2号線との交差点			
	本港8号線	京都郡菟田町港町本港1号線との交差点		15.8	435.4
		京都郡菟田町長浜町5番15長浜1号線との交差点			
	本港9号線	京都郡菟田町港町23番11		16	326.8
		京都郡菟田町港町23番8 13号岸壁取付護岸東端			
	本港10号線	京都郡菟田町港町23番11		13	101.9
		京都郡菟田町港町23番14 本港11号線との交差点			
本港11号線	京都郡菟田町港町23番11		13	373.7	
	京都郡菟田町港町23番5 本港9号線との交差点				
本港12号線	京都郡菟田町港町23番3		13	54.1	
	京都郡菟田町港町23番8 13号岸壁取付護岸西側				
幸町1号線	京都郡菟田町幸町菟田堤防		9	52.7	
	京都郡菟田町幸町21番幸町2号B物揚場				
幸町2号線	京都郡菟田町幸町21番幸町1号線交差点		4	72.4	
	京都郡菟田町幸町21番幸町3号線交差点				

施設の種類	名 称	起 点	幅員(m)	延長(m)
		終 点		
道 路	幸 町 3 号 線	京都郡菟田町幸町21番幸町1号線交差点	4	84.1
		京都郡菟田町幸町21番幸町1号線護岸北側		
	幸 町 4 号 線	京都郡菟田町幸町菟田堤防	9	556.9
		幸町4号物揚場北端		
	幸 町 5 号 線	京都郡菟田町幸町 幸町4号線との交差点	7.5	86.0
		幸町3号物揚場		
	幸 町 6 号 線	京都郡菟田町幸町 幸町4号線との交差点	7.5	85.6
		幸町3号物揚場北端		
	長 浜 1 号 線	京都郡菟田町長浜町44番地の6地先南港1号線との交差点	12~13.5	1,680
		京都郡菟田町長浜町32番地地先南港1号線との交差点		
	長 浜 2 号 線	京都郡菟田町長浜町31番地地先長浜1号線との交差点	10.9	460
		京都郡菟田町長浜町29番地地先長浜1号線との交差点		
	長 浜 3 号 線	京都郡菟田町長浜町28番地地先長浜2号線との交差点	6.8	270
		京都郡菟田町長浜町15番地地先長浜1号線との交差点		
	長 浜 4 号 線	京都郡菟田町長浜町8番地地先南港1号線との交差点	11.7~12	1,570
		京都郡菟田町長浜町35番地南端地先南港1号線との交差点		
	長 浜 5 号 線	京都郡菟田町長浜町35番地北端地先長浜4号線との交差点	15.4	540
		京都郡菟田町長浜町35番地東端地先南港1号線との交差点		
	長 浜 6 号 線	京都郡菟田町長浜町5番9長浜1号線との交差点	11~15	180.2
		京都郡菟田町港町本港1号線との交差点		
南 港 1 号 線	京都郡菟田町富久町2丁目8番1号国道10号との交差点	19.6	3,070	
	京都郡菟田町長浜町1番地西端地先本港1号線曲り角			
南 港 2 号 線	京都郡菟田町長浜町48番地の1地先南港1号線との交差点	19.6	40	
	長浜護岸東端			
南 港 3 号 線	京都郡菟田町長浜町48番地の1地先南港1号線との交差点	11.4	80	
	南港7号A岸壁東端			
南 港 4 号 線	京都郡菟田町長浜町49番地の1地先南港1号線との交差点	11.4	80	
	南港7号A岸壁西端			
南 港 5 号 線	京都郡菟田町長浜町49番地西端地先南港1号線曲り角	11.4	30	
	南港4号岸壁			
南 港 6 号 線	京都郡菟田町長浜町51番地中央部地先南港1号線との交差点	11.4	30	
	南港4号岸壁			
南 港 7 号 線	京都郡菟田町長浜町51番地西端南港1号線との交差点	11.4	40	
	南港4号岸壁西端			

施設の種類	名 称	起 点	幅員(m)	延長(m)
		終 点		
道 路	フェリー埠頭線 1号線	京都郡菟田町長浜町19番地の3新港橋	20~28	610.4
		京都郡菟田町新浜町2番地の4地先フェリー埠頭2号線との交差点		
	フェリー埠頭線 2号線	京都郡菟田町新浜町1番地の20フェリー埠頭1号線との交差点	20~40	707
		京都郡菟田町新浜町6番地フェリー埠頭東端		
	フェリー埠頭線 3号線	京都郡菟田町新浜町1番1と京都郡菟田町新浜町1番9との境界	29.1	567.6
		京都郡菟田町新浜町1番9フェリー埠頭1号線との交差点		
	フェリー埠頭線 4号線	京都郡菟田町新浜町1番1と京都郡菟田町新浜町1番48との境界	40	953.6
		京都郡菟田町新浜町1番49フェリー埠頭2号線との交差点		
	南港中央線 1号	フェリー埠頭2号線との交差点	11	70
		南港7号B岸壁西端		
	南港中央線 2号	フェリー埠頭2号線との交差点	11	70
		南港7号B岸壁中央		
	南港中央線 3号	フェリー埠頭2号線との交差点	11	70
		南港7号B岸壁東端		
	南港中央線 4号	京都郡菟田町新浜町7番地南港2号地1号線との交差点	13	74.6
		京都郡菟田町新浜町7番地南港3号物揚場北端		
	南港中央線 5号	京都郡菟田町新浜町7番地南港2号地1号線との交差点	13	74.5
		京都郡菟田町新浜町7番地南港3号物揚場南端		
	南港2号地線 1号	京都郡菟田町新浜町7番地フェリー埠頭2号線との交差点	20~25	2,401.5
		南港2号地3号線との交差点		
	南港2号地線 2号	南港10号埠頭用地の背後地の西端	25	608.3
		南港10号岸壁東端		
	南港2号地線 3号	京都郡菟田町新浜町9番1 南港2号地1号線との交差点	18.5	645
		南港10号岸壁中央		
南港2号地線 4号	京都郡菟田町新浜町9番1 南港2号地1号線との交差点	15.5	304	
	京都郡菟田町新浜町8番17 南港2号地日産自動車九州フェンス(南港2号地2号線寄り)との交差点			
南港2号地線 5号	京都郡菟田町新浜町9番1 南港2号地1号線との交差点	12.5	320.5	
	京都郡菟田町新浜町8番17 南港2号地日産自動車九州フェンスとの交差点			
南港2号地線 6号	京都郡菟田町新浜町9番1 南港2号地1号線との交差点	12.5	337.5	
	京都郡菟田町新浜町8番17 南港2号地日産自動車九州フェンス(南港10号岸壁寄り)との交差点			

施設の種類	名 称	起 点	幅員 (m)	延長 (m)
		終 点		
道 路	南 港 2 号 地 線 7 号 線	京都郡苅田町新浜町8番17 南港2号地4号線との交差点	12.5	270
		南港10号岸壁		
	南 港 2 号 地 線 8 号 線	京都郡苅田町新浜町8番17 南港2号地4号線との交差点	12.5	171.5
		京都郡苅田町新浜町8番17 南港2号地6号線との交差点		
	新 浜 1 号 線	京都郡苅田町新浜町8番1 南港2号地1号線との交差点	12.5	713.3
		南港7号C岸壁東端		
	新 浜 2 号 線	京都郡苅田町新浜町8番6と京都郡苅田町新浜町8番3との境界	12.5	174.5
		南港5号岸壁西端		
	新 浜 3 号 線	京都郡苅田町新浜町8番2新浜1号線との交差点	12.5	73.5
		南港5号岸壁		
	新 浜 4 号 線	京都郡苅田町新浜町8番7と京都郡苅田町新浜町8番3との境界	12.5	175.25
		南港5号岸壁		
	新 浜 5 号 線	京都郡苅田町新浜町8番8新浜1号線との交差点	12.5	73.5
		南港7号C岸壁		
	新 浜 6 号 線	京都郡苅田町新浜町8番8新浜1号線との交差点	12.5	100.75
		苅田町新浜町8番10と新浜町8番3との境界		
	松 山 1 号 線	京都郡苅田町若久町3丁目10番1号国道10号との交差点	20~51.7	3,880
		京都郡苅田町鳥越町4番地松山木材岸壁西端		
	松 山 2 号 線	京都郡苅田町鳥越町2番地の5松山1号線との交差点	20	200
		京都郡苅田町鳥越町2番地の5水面貯木場西端		
松 山 3 号 線	京都郡苅田町鳥越町1番1号松山1号線曲り角	20	755	
	京都郡苅田町鳥越町10番松山8号線との交差点			
松 山 4 号 線	京都郡苅田町鳥越町1番1号松山1号線との交差点	16	522.5	
	京都郡苅田町鳥越町10松山5号線交差点			
松 山 5 号 線	京都郡苅田町鳥越町10番松山3号線との交差点	16	393.9	
	京都郡苅田町鳥越町9番10北側隣			
松 山 6 号 線	京都郡苅田町鳥越町1番1号松山1号線との交差点	12	398.8	
	京都郡苅田町鳥越町1番1号苅田町清掃センター東端			
松 山 8 号 線	京都郡苅田町鳥越町10番松山3号線との交差点	16	1078.5	
	京都郡苅田町鳥越町松山水面貯木場			
松 山 9 号 線	京都郡苅田町鳥越町10番松山3号線との交差点	16	369.3	
	京都郡苅田町鳥越町10番松山4号線との交差点			
松山小型船溜まり道路 A	京都郡苅田町鳥越町1番1松山1号との交差点 (松山小型船溜まり西端)	7.5	53.0	
	京都郡苅田町鳥越町1番61松山小型船溜まり物揚場背後			
松山小型船溜まり道路 B	京都郡苅田町鳥越町1番1松山1号との交差点 (松山小型船溜まり東端)	7.5	39.5	
	京都郡苅田町鳥越町1番61松山小型船溜まり物揚場背後			

施設の種類	名 称	起 点	幅員(m)	延長(m)
		終 点		
橋りょう	港 橋	京都郡菟田町大字南原字浮殿の下2094番地	15.5	27.4
		京都郡菟田町長浜町19番地の3		
	新 港 橋	京都郡菟田町長浜町19番地の3	16	43.1
		京都郡菟田町新浜町1番地の5		

(5) 荷さばき施設

施設の種類	名 称	位 置	面 積 (㎡)	
荷さばき地	本港131号荷捌地	本港13号岸壁背後	10,171	
	南港11号荷捌地	南港10号岸壁背後西側	16,600	
	南港12号荷捌地	南港10号岸壁背後南港2号地3号線東側	6,600	
	南港13号荷捌地	南港10号岸壁背後南港2号地7号線東側	8,200	
	南港43号荷捌地	南港4号岸壁背後南港6号線西側	3,900	
	松山荷捌地	松山木材岸壁背後	3,432	
上 屋	1 号 上 屋	本港10号岸壁背後	4,588.07	鉄骨平屋
	本港2号上屋	本港5号岸壁背後	1,200	鉄筋・鉄骨コンクリート造平屋

(6) 保管施設

施設の種類	名 称	位 置	面 積 (㎡)	
野 積 場	本港11号野積場	本港10号岸壁背後本港2号線東側	8,873	
	本港12号野積場	本港11号野積場背後	9,048	
	本港13号野積場	本港12号野積場背後	39,030	
	本港14号野積場	1号上屋背後	11,000	
	本港15号野積場	本港14号野積場背後	47,239	
	本港16号野積場	本港10号岸壁背後1号上屋西側	1,627	
	本港7号野積場	本港7号岸壁背後	3,749	
	本港61号野積場	本港6号岸壁背後	5,744	
	本港62号野積場	本港61号野積場背後	13,478	
	本港51号野積場	本港5号岸壁背後	3,125	
	本港52号野積場	本港51号野積場背後	12,471	
	本港4号野積場	本港4号岸壁背後	38,980	
	本港3号野積場	本港3号物揚場背後	11,705	
	本港132号野積場	本港131号荷捌地背後西側	3,964	
	本港133号野積場	本港131号荷捌地背後東側	32,912	
	港町1号野積場	京都郡菟田町港町25番地	1,435	

施設の種類	名 称	位 置	面 積 (㎡)
野 積 場	港町 2 号野積場	本港 3 号物揚場背後東側	15,876
	港町 3 号野積場	本港 3 号物揚場背後東側	20,021
	南港 7 号野積場	南港 7 号 A 岸壁背後	7,490
	南港 31 号野積場	京都郡苅田町新浜町 7 番地南港 3 号物揚場背後北側	12,473
	南港 32 号野積場	京都郡苅田町新浜町 7 番地南港 3 号物揚場背後中央	10,778
	南港 41 号野積場	南港 4 号岸壁背後南港 5 号東側	8,665
	南港 42 号野積場	南港 4 号岸壁背後南港 5 号線西側	2,100
	南港 51 号野積場	京都郡苅田町新浜町南港 5 号岸壁背後西側	14,585
	南港 52 号野積場	京都郡苅田町新浜町南港 5 号岸壁背後中央	8,044
	南港 53 号野積場	京都郡苅田町新浜町南港 5 号岸壁背後東側	8,422
	南港 54 号野積場	南港 5 号岸壁背後	7,834
	南港 55 号野積場	南港 5 号岸壁背後	15,123
	南港 56 号野積場	南港 5 号岸壁背後	22,330
	南港 71 号野積場	南港 7 号 B 岸壁背後西側	7,839
	南港 72 号野積場	南港 7 号 B 岸壁背後東側	7,870
	南港 73 号野積場	南港 7 号 D 岸壁背後	20,291
	南港 74 号野積場	フェリー埠頭 A 岸壁背後	2,481
	南港 75 号野積場	フェリー埠頭 A 岸壁背後	5,441
	南港 76 号野積場	フェリー埠頭 A 岸壁背後	10,423
	南港 77 号野積場	フェリー埠頭 A 岸壁背後	1,110
	南港 78 号野積場	フェリー埠頭 A 岸壁背後	17,423
	南港 701 号野積場	南港 7 号 C 岸壁背後	8,611
	南港 702 号野積場	南港 701 号野積場背後	22,645
	南港 14 号野積場	南港 11 号荷捌地背後西側	6,000
	南港 15 号野積場	南港 11 号荷捌地背後東側	5,500
	南港 16 号野積場	南港 12 号荷捌地背後	4,400
	南港 17 号野積場	南港 13 号荷捌地背後	4,800
	南港 101 号野積場	南港 14 号野積場背後	5,900
	南港 102 号野積場	南港 15 号野積場背後	5,700
	南港 103 号野積場	南港 16 号野積場背後	4,000
南港 104 号野積場	南港 17 号野積場背後	3,600	
南港 105 号野積場	南港 101. 102 号野積場背後	6,825	
南港 106 号野積場	南港 103. 104 号野積場背後	4,065	

施設の種類	名 称	位 置	面 積 (㎡)
野 積 場	松 山 野 積 場	松山物揚場背後	76,710
	松 山 小 型 船 溜 まり 野 積 場	松山小型船溜まりD物揚場背後	2,925
	幸 町 1 号 野 積 場	幸町2号B物揚場背後南側	1,987
	幸 町 2 号 野 積 場	幸町2号B物揚場背後北側	1,398
	幸 町 3 号 野 積 場	幸町2号野積場西側	651
	幸 町 4 号 野 積 場	幸町3号野積場西側	1,223
	幸 町 5 号 野 積 場	幸町船揚場背後	508
	幸 町 31 号 野 積 場	幸町3号物揚場背後	7,843
	幸 町 32 号 野 積 場	”	12,125
	幸 町 41 号 野 積 場	幸町4号物揚場背後	13,985
	幸 町 42 号 野 積 場	”	12,595
貯 木 場	松山水面貯木場	京都郡苅田町鳥越町地先	416,624

(7) 港湾環境整備施設

施設の種類	名 称	位 置	面積(㎡)	施 設 の 概 要
緑 地	本 港 緑 地	京都郡苅田町港町2番地	3,102	樹木、芝生、ベンチ
	苅田港緑地公園	京都郡苅田町新浜町	34,829	樹木、芝生、ベンチ トイレ、学習サイン
	南 港 緑 地	京都郡苅田町新浜町	3,940	樹木、芝生、ベンチ
	幸 町 緑 地	京都郡苅田町幸町	5,165	樹木、芝生
	松 山 緑 地	京都郡苅田町鳥越町9番1	29,221	樹木、芝生、トイレ
	磯 浜 緑 地	京都郡苅田町磯浜町1丁目	10,023	樹木、芝生、連絡橋、トイレ等
	港 町 緑 地	京都郡苅田町港町	1,672	樹木、ベンチ、学習サイン

(8) 港湾公害防止施設

施設の種類	名 称	位 置	施 設 の 概 要
その他港湾 における公 害防止のた めの施設	トラック洗車場No.1	本港4号野積場	給水栓 2箇所
	トラック洗車場No.2	本港52号野積場	給水栓 1箇所
	給水設備	本港62号野積場	給水栓 7箇所 貯水槽 1個
	給水設備	本港13号岸壁背後	給水栓 3箇所 貯水槽 1個
	防塵柵	本港地区	高さ 7.14m 延長 471.1m
	防塵柵	本港地区	高さ 10.14m 延長 373m
	廃水処理設備	本港13号岸壁背後	沈殿槽 1個

(9) 航路標識

○灯 台

標識名	位置	灯質	塗色及び構造	管理者
苅田港東防波堤灯台	北緯 33-47-49.3 東経 131-00-47.5	群閃緑光 毎8秒に2閃光	白色塔型コンクリート造 高さ7.8(7.75)m	門司海上保安部
苅田港北防波堤灯台	北緯 33-47-59.9 東経 131-00-44.9	群閃赤光 毎8秒に2閃光	赤色塔型コンクリート造 高さ8.3(8.25)m	"
苅田港南防波堤灯台	北緯 33-47-14.9 東経 131-00-30.4	単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色・塔形プラスチック造 高さ5.9(5.86)m	"

○灯 浮 標

標識名	位置	灯質	塗色及び構造	管理者
苅田港第一号灯浮標	北緯 33-49-27.8 東経 131-05-44.3	群閃緑光 毎6秒に2閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(鉄造)	門司海上保安部
苅田港第二号灯浮標	北緯 33-49-34.8 東経 131-05-40.3	群閃赤光 毎6秒に2閃光	赤色円すい形頭標1個付赤色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港第三号灯浮標	北緯 33-49-08.5 東経 131-04-43.5	単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港第四号灯浮標	北緯 33-49-16.8 東経 131-04-40.9	単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色円すい形頭標1個付赤色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港第五号灯浮標	北緯 33-48-44.8 東経 131-03-31.0	単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港第六号灯浮標	北緯 33-48-52.0 東経 131-03-27.5	単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色円すい形頭標1個付赤色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港第七号灯浮標	北緯 33-48-19.8 東経 131-02-17.7	単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港第八号灯浮標	北緯 33-48-27.0 東経 131-02-13.4	単閃赤光 毎3秒に1閃光	赤色円すい形頭標1個付赤色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港第九号灯浮標	北緯 33-48-06.8 東経 131-01-38.7	単閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港南第一号灯浮標	北緯 33-47-45.6 東経 131-00-34.6	単閃緑光 毎5秒に1閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(プラスチック造)	"
苅田港南第三号灯浮標	北緯 33-47-21.4 東経 131-00-19.2	単閃緑光 毎5秒に1閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(プラスチック造)	"
苅田港神ノ島東第一号灯浮標	北緯 33-47-51.9 東経 131-01-16.9	群閃緑光 毎6秒に2閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港神ノ島東第二号灯浮標	北緯 33-47-57.7 東経 131-01-07.6	群閃赤光 毎6秒に2閃光	赤色円すい形頭標1個付赤色 やぐら形(鉄造)	"
苅田港神ノ島東第三号灯浮標	北緯 33-47-00.1 東経 131-00-35.8	群閃緑光 毎3秒に1閃光	緑色円筒形頭標1個付緑色 やぐら形(鉄造)	"

○簡易灯浮標

標識名	位置	灯質	塗色及び構造	管理者
灯浮標 1 (本港)	北緯 33-47-42.6 東経 130-59-26.4	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色特5型 アルミニウム合金	福岡県
灯浮標 2 (本港)	北緯 33-47-43.6 東経 130-59-24.4	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色15-A型 アルミニウム合金	"
灯浮標 3 (本港)	北緯 33-47-43.8 東経 130-59-21.8	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色特5型 アルミニウム合金	"
灯浮標 2 (南港)	北緯 33-47-33.70 東経 131-00-48.70	単閃光 赤色 3秒1閃光	赤色5NC型 アルミニウム合金	"
灯浮標 3 (南港)	北緯 33-47-26.00 東経 131-00-56.35	単閃光 緑色 3秒1閃光	緑色5NC型 アルミニウム合金	"
灯浮標 5 (南港)	北緯 33-47-07.36 東経 131-00-27.71	単閃光 黄色 4秒1閃光	黄色3H9型 アルミニウム合金	"
灯浮標 6 (南港)	北緯 33-47-17.7 東経 131-00-11.4	単閃光 赤色 4秒1閃光	赤色20-A型 アルミニウム合金	"

(10) けい船岸(専用岸壁)

名 称	管 理 者	延 長	水 深	備 考
揚 油 栈 橋	九 州 電 力 株	104m	-7.5m	ドルフィン栈橋コンクリート
1 号 栈 橋	麻 生 セ メ ン ト 株	74m	-6.0m	脚部鋼管上部コンクリート
2 号 栈 橋	"	35m	-7.5m	浮栈橋付
3 号 栈 橋	"	28m	-7.5m	脚部鋼管上部コンクリート
セメント積出No.1 栈橋	宇 部 興 産 株	86m	-7.5m	"
セメント積出No.2 栈橋	"	63m	-7.5m	鋼ぐい栈橋
原燃料荷揚No.1 栈橋	"	46m	-6.0m	脚部鋼管上部コンクリート
原燃料荷揚No.2 栈橋	"	33.5m	-4.5m	"
原燃料荷揚No.3 栈橋	"	55m	-6.0m	鋼ぐい栈橋
No. 1 栈 橋	三 菱 マ テ リ ア ル 株	73.5m	-4.5m	コンクリート
No. 2 栈 橋	"	47m	-6.0m	"
No. 3 栈 橋	"	61m	-7.5m	"
No. 4 栈 橋	"	185.4m	-10m	"
No. 5 栈 橋	"	115m	-6.0m	"
No. 6 栈 橋	"	202m	-9.0m	鋼抗、PC矢板
豊 鋼 材 岸 壁	豊 鋼 材 工 業 株	215m	-4.5m	鋼矢板平行式
栈 橋	太 平 洋 セ メ ン ト 株	49m	-7.5m	ドルフィン栈橋
日 産 自 動 車	日 産 自 動 車 九 州 株	300m	-7.5m	鋼矢板
"	"	230m	-10m	"

(1) 荷 役 機 械

設置場所	所有者	型 式	能 力	動力	用 途	備考
本港52号野積場	福岡県	移動式荷役ホッパー	200t/h	軽油	撤貨物荷揚	2基
本港13号岸壁	福岡県	アンローダ	850t/h	電力	石炭荷役	1基
揚油棧橋	九州電力(株)	流量計	1,400t/h	"	重揚・原油定	
No. 1 棧橋	三菱マテリアル(株)	旋回水平引込式ジブクレーン	300t/h	"	原料荷揚	
No. 2 棧橋	"	シップローダー	700t/h	"	セメント積込	
No. 3 棧橋	"	シップローダー	1,000t/h	"	"	
No. 4 棧橋	"	シップローダー 連続式アンローダー	1,000t/h 700t/h	"	製品積込 原料荷揚	
No. 5 棧橋	"	旋回水平引込式ジブクレーン	300t/h	"	原料荷揚	
原燃料荷揚 No. 1 棧橋	宇部興産(株)	ジブクレーン	150t/h	"	原燃料荷揚	
原燃料荷揚 No. 2 棧橋	"	水平引込クレーン2号	250t/h	"	"	
原燃料荷揚 No. 3 棧橋	"	" 3号	350t/h	"	"	
セメント積出 No. 1 棧橋	"	双動型バーツ	900t/h	"	セメント積込	
セメント積出 No. 2 棧橋	"	"	700t/h	"	"	
1号棧橋	麻生セメント(株)	門型水平引込クレーン	250t/h	"	原料荷揚	2基
2号棧橋	"	ベルトコンベアー	500t/h	"	セメント積込	
3号棧橋	"	クレーンクラムシェル	250t/h	"	原料荷揚	
太平洋 セメント棧橋	太平洋セメント(株)	ベルトコンベアー	1,300t/h	"	セメント積込	
豊鋼材工業岸壁	豊鋼材工業(株)	クレーン	75t/h	"	鋼板コイル 荷揚	